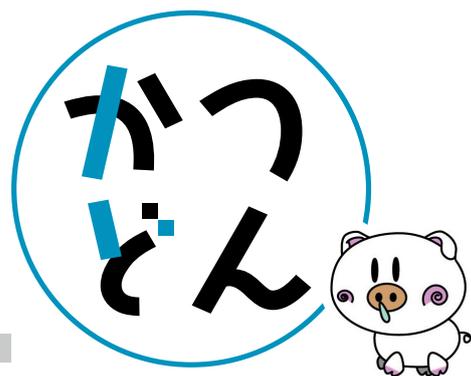


“かつ” ボランティア&市民活動を “どん”どん広げよう!



ボランティア“活”動や市民“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がり、半田市が生き生きとくらしやすいまちになるよう、市内で行われるさまざまな取り組みを紹介します。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

はんだまちづくり

ひろば(愛称:まちひろ)

☎32-3440

【相談窓口】 市民交流センター(クラシティ3階)

【開所時間】 月曜日～土曜日 9時～17時

【休館日】 毎月第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)

大作戦レポート

半田市では「みんなで一緒に大作戦」を合言葉に、市民のみなさんと力を合わせて、より住みやすいまちにしていくことを目指しています。



建築を学ぶ学生が地域に根差した活動を行っています

“亀崎建築塾”は、日本福祉大学で建築を学ぶ学生がものづくりを通して子どもたちに亀崎の魅力に目を向けてもらおうと活動している市民活動団体です。

令和元年6月から、木や竹を使ったものづくりのワークショップ“亀崎建築ものづくり塾”を7回行ってきました。その中のひとつとして、12月に亀崎児童センターで子どもたちとまちを彩るベンチを作り、設置しました。

これまでの活動で、亀崎のまちを歩き、“いいね!”と思うところや“さみしいな”と思うところを見つける中で、学生と一緒に「まちにあったらいいな」を考え、スケッチに描いたり模型を



作成し、作りたいもののイメージを広げてきました。子どもたちの作りたいものから、まちで多くの人に親しまれるような

ベンチ作りに決まりました。当日は、庭木の伐採など地域の困りごとを手助けする活動をしている市民活動団体“亀崎思いやり応援隊(KOO)”に、のこぎりやドリルを使う際のサポートしてもらいながら、組み立てや色塗りを楽しみました。子どもたちが考えたカラフルな色使いをしたベンチやピアノモチーフのベンチは、亀崎の3軒長屋と亀崎ささえあいセンターに設置され、亀崎のまちに彩りを添えています。



今後も、地域で活動する団体や施設と協力しながら、子どもたちが自分のまちを好きになるきっかけ作りをしていきたいとのことです。

今回の大作戦でいっしょに取り組んだみなさん
亀崎建築塾・亀崎思いやり応援隊(KOO)
亀崎児童センター